

かほく議会だより

第101号
2018年10月12日



町民は河北の良さを自覚して
撮影賞を獲得 ふるさとCM大賞
三軒茶屋にアンテナショップ
7人が一般質問

2P
4P
14P

●シリーズ●

町民インタビュー

2・3Pにインタビューの記事があります。
(写真はボランティア団体の皆さん)

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/1050.html>

山形県河北町議会 山形県西村山郡河北町谷地戊81 〒999-3511 ☎0237-73-2119 編集／広報広聴常任委員会

印刷／株式会社武田印刷



わたしの一言

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きました。

名実共に地域の拠点となる場になりますよう

● 要害 兼子 祐喜さん

現在の庁舎は昭和40年完成の建物で、細かな所を見るとコンクリートにクラックが入り、鉄筋が露出して錆びていたり雨漏りの原因になっている場所も見受けられます。大きな地震には耐えられないと感じています。また、50年前はバリアフリー等という考えも無かった時代の建物ですから、使い勝手の悪いところが各所に見受けられます。私も、数年前足を怪我し1年間程松葉杖での生活を余儀なくされました。その時の訪庁が大変だった記憶があります。度々、改修工事で改善を図ってはいるのですが、基本構造の古さからこれから先数十年の使用に耐えられないのでしょうか。

新庁舎の基本計画には「町民に親しまれるユニバーサルデザイン」「町民の安全・安心につながる、頼りになる」と言う言葉が盛り込まれています。四肢に障がいを負った時でも臆せず訪庁できる誰にでも優しい建物・環境が整い、万が一の災害時には災害対策本部としてきちんと機能し、児童動物園と共にこれからも皆に愛される地域の拠点となって貰いたいと思います。

新しくなる河北の拠点をハード、ソフト共に活用推進し、我が町がもっと活性化していきますよう議員の皆様のご支援をお願いします。



孫の居場所

● 溝延6区 大野 美代子さん

『あなたなら大丈夫、と神様が授けてくれたのネとの、お舅さんからの言葉に、ハッとした。』と話してくれた孫と同級生の若いお母さん。孫が養護学校にいた頃の話です。

あれから18年、今は孫も大人になり、西里にある作業所「ひだまりの家かほく」で働いています。

「ひだまりの家」は、河北町の親の会の皆さんや、支援者の方が長年、町に働きかけて、前にお世話になった南部小前の上村さんの工場跡地から昨春、西里幼稚園跡の河北すこやかふれあいセンターに移転させていただいた障がい者小規模作業所です。広々とした施設と元気な女性所長さん、気くばりの良い職員さん達に囲まれて皆と働いたり、お茶会や調理実習をしたりレクリエーションでお出かけしたりしています。「優しい人達ばかりで、ひだまりはいい所だよ、僕はひだまりが大好きだよ。」と孫も私に話してくれます。

孫の居場所「ひだまりの家かほく」を今後も、見守っていただきますよう、お願いしたいと思います。

編集後記

今年の夏は酷暑続きで本当にまじりましたね。全国一斉に学校の教室にエアコン設置の必要性が叫ばれました。集中して学習できる学び舎の環境を整えるのは行政の判断です。

河北町のエアコン設置も待たれます。

はや足で夏が去り、あちこちで祭りが開催。今年は村山市、寒河江市のお祭りに招待されました。そして、我が町のどんが祭りは、八幡宮での献茶会、奉納銃剣道大会、全国奴祭り、岩槻区黒奴、宮城県竹駒奴、酒田市飛澤神社奴は赴きを感じて漂々しい谷地奴。

祭りがあ、できるって素晴らしいことですね。

(てい子)

広報広聴常任委員会

委員長 木村 章一
副委員長 大場 勇人
委員 丹野 貞子
委員 細矢 誓子
委員 松田 賀好
委員 東海林 信弘

町民は河北の良さを自覚して

新シリーズ 町民インタビュー

かほく議会だより
の101号から、町民の方々にインタビューして紹介する企画がスタートしました。

最初は、ボランティアで活躍されている5つの団体とのインタビューです。

それぞれの活動紹介や楽しいこと、大変なことなどを語っていただきました。

また、町や議会に対する意見をお聞きました。

どんな活動をされているかご紹介ください

NPO元氣netかほく
代表 庄司武典さん



4つの委員会があり、どんがホールを活用したイベント、空き家問題、少子化対策など、町のにぎわいづくりに取り組んでいます。

河北町環境を考える会
代表 三部義道さん



平成11年に活動開始。「美しい地球を子どもたちに」と月1回の例会や、キャンセルナイトなどに取り組んでいます。

のぞみの会
会長 遠藤きみ子さん



河北町への交流人口を増やすため頑張っています。

12人のメンバーが紅花資料館でガイド活動をしています。

眺葉園のデイサービスのお手伝いなどをしていきます。ボランティアをしていると、パワーをもらって若返ります。

べに花ガイド会
会長 阿部俊さん



SKITかほく
代表 古澤直義さん

消費者問題、オレオレ詐欺などの題材で、寸劇活動をしています。シナリオは10作ぐらいあります。



生きた

心地がする

活動していて楽しいことや大変なことは

遠藤 おばあちゃんが喜んでくれること。週2回の入浴支援で「生きた心地がする」など

と言われるとうれしい。ほかのボランティアとの交流も楽しい。

古澤 見ていただいた方から「良かったよ」「おもしろいけ」という言葉をいただいた時。特に敬老会は終わってから懇談があり、感想を聞かせてもらってうれしい。

三部 大きなイベントに取り組むと、チケット販売で苦勞することがあるが、毎月の例会で集まり、話し合っ飲んでまたやろうという気になります。

阿部 県外や町外から新しい出会いが多いの

でとても楽しい。

特にリピーターはうれしい。たいへんなことはありません。

外部のボランティアさんとの交流が、とても勉強になります。

庄司 いろいろな人たちと交流して、1つのイベントを企画していくことがうれしいです。

もっと危機感 あるべき

町や議会に期待することや言いたいことは

三部 私は会の代表をしていて今回参加しましたが、しばらく前から河北町民ではありません。

町外から河北町を見ると、良い所がたくさんあります。

町民は河北町の良さを自覚すべきです。

一方で、中庸に甘んじていて、新しいこと

に向かっています。

ほかの市町村は大変危機感があるのに、河北町民は危機感がないように見えます。

庄司 町や議会は、他市町の人たちの話も聞いて先々まで考えてしっかり判断してほしい。

谷地高の学級数を減らさないように取組んでほしい。

道の駅

再開は熟慮を

道の駅が休館中であることに意見は

古澤 道の駅河北のオープンが25年前というのは早すぎたのかもしれない。

産直とバラバラなのは問題だと思う。

道の駅については熟慮すべきだ。

三部 谷地高のカヌーが活躍しているのだから、道の駅近くの最上川でカヌーに乗って、楽しめるようにできるのではないかな。

一般質問はもっと踏み込んだ記事にかほく議会だよりの感想をお聞かせください

阿部 議会だよりはほぼ全部目を通しています。

議会録画が見られるようになるのが遅いのではないかな。

遠藤 手に取っても見るのは写真と大きな見出しだけかな。

庄司 一般質問はもっと踏み込んだ内容の記事にしてほしい。

三部 ネット中継をしていることをもっとPRしてほしい。



**9月議会
3日～13日**

9月3日から13日までの9日間、9月定例会が開催されました。
提案された議案は一般会計決算承認のほか、各特別会計決算、条例の改正、人事議案、一般会計補正予算などが提案され、いずれも認定・可決されました。

平成29年度一般会計及び各特別会計は、決算審査特別委員長に東海林信弘委員を選出し、審査しました。

一般会計歳入は100億1578万円で、初の100億円超えです。
歳出は97億8534万円となり、繰越明許費は3051万円で実質収支額は1億9992万円です。

一般会計決算の概要

・歳入の主なもの

町税は19億8400万円、地方交付税は23億8530万円、国庫支出金は6億3600万円、県補助金は2億4780万円、町債は4億6390万円、ふるさとづくり寄付金は15億2670万円です。

・歳出の主なもの

新庁舎建設基本計画のワークショップや町民からのパブリックコメントの実施、紅花を活用した観光振興の拠点として紅花活性化施設を整備、ひなの宿の宿泊者専用浴場の整備、JAさがえ西村山が建設運営する農産物等直売施設整備に1億円を補助、町内篤志家からの原資による企業支援や給付型奨学金事業などを実施しました。

また、道の駅河北は、指定管理の基本協定を取り消し、30年3月31日をもって閉館しました。

平成29年度決算における※経常収支比率は93・6%と高く、河北町の財政は依然として厳しい状況にあります。

※経常収支比率は、一般的に80%以下が望ましいといわれている。

道の駅河北

撤退要因の検証は

問 利用者が増えているにもかかわらず、指定管理の取消しをしたが何故か。

意欲がある経営者であり、相当前から町に相談していた。

町は応えられず指定管理の取消しを行った。失敗から学ぶべきで、しっかり検証すべきだ。

商工観光課長

3階の

レストランの利用が少なく、産直施設が併設されている他の道の駅とは違い、利用しづらかった。

管理者の初期の投資もあり経営が困難になった。

過去の決算状況等をみて検証したい。

道の駅の

あるべき姿を示せ

問 本来の道の駅のありべき姿を行政は示さず、他の道の駅を参考にしなかった。

道の駅全国連絡会が発行した「教科書道の駅」を参考にしたか。

商工観光課長

今後、

他の道の駅も参考にし、本は熟読し活用していきたい。

最上川左岸に

秘伝豆の団地構想

問 本町の秘伝豆は米にかわる作物だ。

今後どのような枠組みで行うのか。

町長

戦略作物に位置づけし、ブランド化を図る。

今は西里が主産地だが、古佐川から法師川までの最上川左岸の築堤に合わせ、大規模生産団地を形成すべく、協議会を通して北谷地地区に話をしている。

ふるさとづくり寄付金 今後の対応は

問 総務省から返礼品割合を3割にするよう通達があったが。

政策推進課長 29年度は今まで通りだが、30年度から3割にしている。

福祉灯油の

申請見直しは

問 福祉灯油の対象者への通知が、該当しな

米は3割にプレゼントを上乘せしている。



今年のふるさとCM大賞の企画に取り組む谷地中部小の子どもたち

ふるさとCM大賞

撮影賞を獲得

問 ふるさとCM大賞で撮影賞はすばらしい。大賞を取れるよう頑張ってください。

政策推進課長 29年度は河北中の生徒が、がんばってくれた。

きたい。

被災時の備蓄は

足りているか

問 地域防災計画では山形盆地断層帯を震源とした場合、2200人以上の避難所生活者が予想される。

災害備蓄品は足りているか。

環境防災課長

29年度備蓄と合わせて4650食だ。備蓄数量の基準はない。

ローリングストック

方式の備蓄を

問 備蓄品のローリングストックはされているのか。家庭での備蓄も啓発すべきだ。

環境防災課長

防災訓

練に利用したこともあるが、賞味期限が切れ廃棄した物もある。家庭での備蓄もお願いしたい。



産直が併設されている道の駅米沢

林業経営管理法

による町の対応は

問 林業経営管理法の施行が31年度から実施され、個人で経営できない森林は町が管理することになるが。

副町長

県から説明を

紅花資料館の入館者

減少の対応は

問 紅花資料館の入館者数が減少している。観光振興の役割や位置づけを確認し、根本的な見直しが必要では。

商工観光課長

展示の方法など工夫をしてい

学区再編のあり方は

問 現在の子どもの人口を考えた場合、将来の生徒の推移は当然予測できるはずだ。

学区再編のあるべき姿を示す時期では。

教育長 それぞれの地区の現状を考えた場合、問題がなく過ぎていくとは思われない。

2名体制になったが、その効果は。

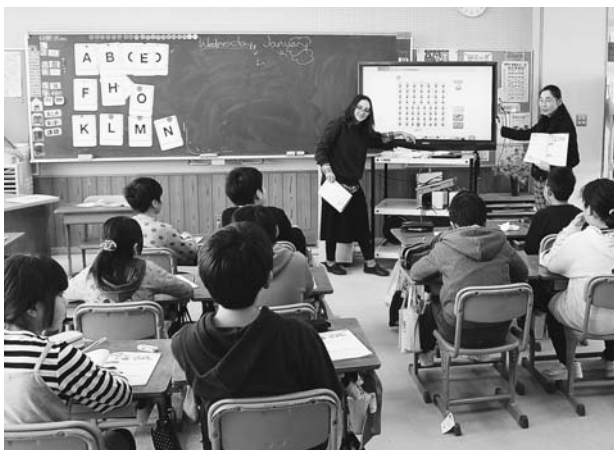
教員の英語指導力向上は。

学校教育課長 授業外でもALTとふれあえるようにした。小学校の教員を対象に英語指導を行っている。

ALT増員の成果は

ALTが増員されている。

教育長 不安があるの



ALTによる英語指導

谷地高校の学級数

減らすな

問 谷地高があるだけで町は活気がある。学級減はどう考えるか。

町長 町などで県に申し入れた。伝統や生徒の活動を考えれば、学級減は絶対避けるべきだ。

企業支援補助金の活用は

問 事業費の80%、最大500万円というこの支援は全国でも最大級の補助金だ。

町おこしにも活用できるが、支援の状況はどうか。

商工観光課長 4件応募があったが、審査で2件が対象となった。今後もPRして有効活用を図りたい。

町民プールの傾きの原因特定は

原因特定は

問 町民プールの傾き

多すぎる国保の基金

問 30年度からは県が保険者になり、基金がなくとも運用できるようになった。

4億円もある基金は国保税収と同じほどだ。

税務町民課長 医療費の伸びと被保険者の増加で、県納付金の増額が予想される。今後、税率を上げしないよう備える。

下水道の

区域見直しを

問 発足当時、下水道料金は上水道料金の7割だったが、今は上水道料金よりも高い。

現在の損益分岐点における使用料金の単価は。

上下水道課長

おおよそ208円／㎡、いただいている料金は193円／㎡だ。不足分は一般会計で補てんしている。

単価からも分かるように今でさえ逆転している。

これ以上の整備は将来の負担になる。区域を見直すべきではないか。

上下水道課長

個人の考えとして、認可区域の見直しも考えなければならぬと思っています。



地域の先生から茶道を学ぶ

学校支援コーディネーターの活動は

問 学校と地域の支援者との交渉は誰が行うのか。

教員の負担増にならないのか。

教育長 今は教育委員会のコーディネーターが学校からの要望をまとめ、地域の支援者の日程調整まで行っている。

ふるさと応援寄付金

収支がわかりにくい

問 決算監査意見書にある、ふるさと応援寄付金と返礼品・基金繰入金との関係が複雑との意見があったが。

監査委員 寄付金と返礼の金額の差引額が利益と考えられる。しかし寄付金以上の金額が必要経費とされている。わかりやすく「見える化」をはかるべきだ。

給付型奨学金

適用範囲の拡充は

の問題は、昨年の決算議会から議論されているが、未だに原因が特定されていない。

いつまでに原因を特定するのか。

生涯学習課長 地質調査を行い、設計どおりに施工したが沈下した。原因特定は難しい。引き続き調査をしていく。

反対

木村章一

子育て支援が不十分

認定こども園が2園体制になり、河北町では子育てできないと声が上がりが、届け出保育施設の1歳児と2歳児に保育料支援が緊急に追加実施された。

しかし町外に住まいを移した親子もあり、子育て支援の遅れと不十分さが明らかになった。

討論

平成29年度の一般会計決算

賛成

石垣光洋

財政の健全性を維持

29年度の実質収支は1億9千9百万円、単年度収支は845万円の黒字を確保している。

また、29年度決算に基づく健全化判断は、実質公債費比率で12%、将来負担比率は31.6%であり、危険と判断される各々の25%と350%より大幅に小

希望する高齢者宅などの間口除雪が取組まれ一歩前進した。

税が高すぎて基金が

4億円残った国保

国保が県に一本化されると4億円の基金が残りが、町民に余分な税負担を求めていることが明らかになった。

他市町村では、ふるさと納税を財源に、保育料や学校給食費の無料化に挑戦したが、河北町ではそのような取

さく財政の健全性を示す。

こうした背景には、町長の指導の下、行政の改革や事務の適切な執行があったものと考

える。

29年度においても届出保育施設入所者への、1・2歳児の保育料の負担軽減の支援や、中学3年生までの医療費の無料化などが取組まれた。

篤志家の方の寄付

寄付金により新たに育成奨学金給付事業を行い、また、産業振興に2件の企業をサポートすることができた。感謝申し上げる。

ふるさと寄付額15億円

ふるさとづくり寄付金関連では、約25%増加した。

以上、賛成する。



下水道の工事

9月定例会では、一般会計などの補正予算や条例の制定、人事議案を原案通り可決、同意しました。
以下に、議案についての質疑を紹介します。

さくらんぼC12号 佐藤錦に次ぐ目玉品種へ

問 さくらんぼC12号の町としての位置づけと、苗木の補助内容は。
農林振興課長 町として、佐藤錦に次ぐ目玉品種にしたい。苗木は1000本で、1本に対して、4500円を補助し、生産者負担は3000円程度。



留学生や県外からも手伝ってもらいさくらんぼの収穫

県外からの移住者へ

米・味噌・醤油支給 県外から町内へ移住した人へ、米、味噌、醤油を1年分支給とあるが、すべて町内産なのか。
政策推進課長 米60kg、味噌3kg、醤油3ℓの支給となり、すべて町内産とは限らない。

期日前投票の負担軽減

問 期日前投票の負担軽減とはどんな内容か。
総務課長 受付で投票日に行けない理由を記入してもらっていた。負担を軽減するため、入場券裏面に事前に書き込めるようにする。

高校生議会を開催

問 会議録作成費用とあるが、内容は。
総務課長 高校生議会の会議録作成費用で、11月20日に開催予定と聞いている。

溝延小食堂に

寒さ対策のカーテン 溝延小学校食堂へのカーテン設置とは、どんな内容か。
学校教育課長 一部吹き抜け天井のため冬期間非常に寒いので、境に寒さ対策のカーテンを設置する。

旧溝延・西里幼稚園

外遊具撤去へ **問** 児童福祉費の土木工事とは。
健康福祉課長 旧溝延・西里幼稚園の外遊具は、安全面を考慮して全て撤去する。溝延は北側の物置も併せて撤去する。



谷地北口北でも県道の冠水(6月30日)

豪雨災害による林道整備と道路排水調査

問 林道整備事業費は、8月の集中豪雨に関係した整備事業なのか。
農林振興課長 8月の集中豪雨で被害にあった、林道及びのり面の修繕を実施する。
問 道路排水施設調査設計委託料とは。
都市整備課長 集中豪雨による道路冠水をうけ、北口地内の排水調査設計委託料だ。

三軒茶屋にアンテナショップ

問 河北町商工会が設置運営するアンテナショップの内容は。
商工観光課長 三軒茶屋にオープン予定で名称は「かほくらし」。町としても大いにかわっていきたい。

は町民から喜ばれている。なぜ、当初予算にはできないのか。
都市整備課長 県の支出金の関係もあり当初予算では計上できない。

人事議案

賛成全員で可決 河北町人権擁護員 阿部孝記(荒町東) 岸 善一(岩木) 河北町教育委員会委員 児玉康子(谷地中央)

29年度の申請は86件で30年度は現在で、52件申請されている。

谷地高の定員120名堅持を

河北町議会では意見書を決議し、県の教育長に申入れをしました。
県立谷地高等学校入学定員120名の堅持を求める意見書
平成31年度の実施計画が公表され、谷地高等学校の入学定員を1学級削減し、募集学級



日本遺産認定の看板が掲げられた紅花資料館



谷地高等学校がインターハイや国体でのカヌー競技で輝かしい成績をあげるなど大変魅力ある学校であり、キャンパス制の取組みを継続しながら特色ある教育活動を行ってきた成果である。こうしたことから、県立谷地高等学校入学定員120名の堅持を強く求めるものである。

大人気 持家住宅促進の補助
問 持家住宅促進事業

生涯学習課長 7市町の推進協議会を設立し、日本遺産魅力発信事業で文化財を活用する事業を展開していく。30年度は、情報発信、人材育成など事業展開していく。

7 議員が一般質問

一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

12・13P

2番 吉田 芳美 議員

① 1 億円助成の J A ひな産直がオープンし 7 か月が経過し、町民所得向上の状況は

② 介護士不足が問題視され、高齢化率が 35% を超える中、介護士の確保は

③ 雇用創出の企業誘致と、河北町から撤退する会社があることについて伺う

6番 槇 正義 議員

① 分かりにくい住居表示は、7 総後期基本計画で「調査・研究の必要」としているが

② 災害が多発する今日、消防団員が年々減少していることの課題と対応は

3 平成 32 年度までの町の個別施設の集約・廃止、財政負担の計画策定は

5番 漆山 光春 議員

① 谷地高の存続は地域の存続と直結する問題で、高校の魅力化と地域の協働を

2 保護者や地域住民が学校経営に参画する学校運営協議会制度の導入について

12番 丹野 貞子 議員

① 小・中学校の全教室などにエアコンを早急に設置すべきことについて

10番 細矢 誓子 議員

① 商工会が実施する河北町アンテナショップ「かほくらし」に町の支援体制は

② 河北町の移住定住支援策について

11番 木村 章一 議員

① 農業振興と再生可能エネルギーのため、農業と発電事業を同時に行う方式の導入を

② ゲリラ豪雨などで雨水があふれ出す場所を把握し、早急に具体策を

4番 齋藤 隆 議員

① 「河北町空家等対策計画」を策定することについて

② 生活保護世帯、低所得世帯に対しエアコン設置補助や冷房代の助成を

一般質問

町政に問題提起や政策提言

審議結果〈9月定例会〉

審議結果〈9月定例会〉		賛成…○ 反対他…● 欠席…欠 退席…退 (議長は採決には加わりません)														
議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	増川 修	吉田 芳美	松田 賀好	齋藤 隆	漆山 光春	槇 正義	石垣 光洋	大場 勇人	松田 收作	細矢 誓子	木村 章一	丹野 貞子	東海林 信弘	岡田 桂司
議第48号	平成29年度 一般会計歳入歳出決算認定について 歳入総額100億1578万円 歳出総額97億8535万円 差引額2億3043万円 繰越明許費の繰越額3051万円 財政調整基金へ1億7700万円 平成30年度へ繰越2292万円	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
49	平成29年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額22億5602万円 歳出総額21億5167万円 差引額1億434万円 医療給付に関する支出は 97%を占め、収納率は97% 国民健康保険基金に7500万円、平成30年度へ2934万円の繰越	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
50	平成29年度 西里財産区特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額47万円 歳出総額46万円 差引額1万円 西里地区1世帯当たりの協力は、年額500円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
51	平成29年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額2282万円 歳出総額2282万円 差引額0円 世帯数120戸のうち112戸が供用	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
52	平成29年度 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額9億4828万円 歳出総額9億4828万円 差引額0円 認可区域面積733.5ha 整備率77.6% 4623世帯が処理可能	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
53	平成29年度 介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額21億6591万円 歳出総額21億5946万円 差引額645万円 保険料収納額 4億4962万円 収納率 99.8%	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
54	平成29年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額2億2448万円 歳出総額2億2178万円 差引額270万円 収納率 99.9%	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
55	平成29年度 水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について 収益純利益4035万円 資本的収支8647万円の資金不足は、消費税・地方消費税資本的収支調整額などで補填 資本金繰入7939万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
56	平成30年度 一般会計第2回補正予算について 歳入歳出1億6696万円増額 歳入歳出予算総額91億2058万円 新庁舎建設に係る申請費用や、溝延小食堂の寒さ対策、さくらんぼ新品種C12への補助、大雨時における道路排水施設の調査設計に係る費用を計上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
57	平成30年度 国民健康保険特別会計第1回補正予算について 歳入歳出3028万円増額 歳入歳出予算総額19億5146万円 平成29年度における療養・特定健康診査等の負担金確定に伴い、返還金を追加する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
58	平成30年度 介護保険特別会計第2回補正予算について 歳入歳出3165万円増額 歳入歳出予算総額22億2558万円 システム改修費事業費補助金分の国庫支出金の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
59	平成30年度 水道事業会計第1回補正予算について 収益的収入470万円増額 収益5億1963万円 収益的支出457万円増額し、水道事業費用4億8203万円とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
60	町税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法等の一部を改正する法律、施行に伴う関係政令の整備に関する政令、施行規則を改正する省令の公布に伴い、町税条例の一部を改正する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
61	町道路線の変更について 町道323号みどり町線の終点を変更する 谷地字谷地赤81番地先から谷地字みどり町5番10地先へ変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
62	損害賠償の額の決定について 平成30年7月3日町道高間長表線と国道287号の交差点付近にて発生した物損事故に基づき生じた損害の賠償を行う 賠償額、8万9787円の支払いを決定する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
63	人権擁護委員の候補者の推薦について 阿部 孝記氏(荒町東)の推薦に同意をもとめる	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
64	人権擁護委員の候補者の推薦について 岸 善一氏(岩木)の推薦に同意をもとめる	同意														
65	河北町教育委員会委員の任命について 児玉 康子氏(谷地中央)の任命に同意をもとめる	同意	賛成 13票 反対 0票													
請願第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る請願 請願者 山形県教職員組合西北村山地区支部 支部長 逸見 研	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員発議第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について 発議者 厚生文教常任委員会 委員長 槇 正義	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員発議第6号	県立谷地高等学校入学定員120名の堅持を求める意見書の提出について 発議者 議会運営委員会 委員長 漆山 光春	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○囲み数字は掲載した質問です。他は紙面の都合により掲載できなかった質問で、議会ホームページの録画中継でご覧いただけます。

地元の新鮮野菜を食卓に
がんばれひな産直

町の台所となれるよう
継続し運営に協力する



吉田 芳美 議員

産直になることが重要だ。

将来推計見据え

介護士の安定確保を

問 一億円を助成した産直に低迷を感じる。運営はさがえ西村山農業協同組合だが、町のオープン以降の認識は。

町長 厳しいと認識し町でも活性化に向けて継続し運営に協力する。

問 河北町産の出荷は少ないが。

町長 会員数が257名まで増えた。

加工施設は9月20日より枝豆加工を始める。お客様から信頼されて高い評価が得られる



榎 正義 議員

災害多発と消防団員減少
は安心安全に影響
災害対応はマンパワー
が必要 現状を懸念

パワーが必要であり、この実態を懸念し加入に努めている。

消防団OB活用は指揮系統や補償の課題もあり関係者の意見を聞いていきたい。出動手当は出火、訓練、警戒など1回1000円の支給、団員の確保とあわせて考える課題でもある。

問 地震、豪雨、火災など多発する今日、消防団員は年々減少していることへの認識は。消防団OBの活用、出動手当の改善、災害時の要支援者の避難支援について伺う。

町長 団員の条約定数は565人で現在478人と85%の充足率、団員の減少は火災や豪雨などの災害にはマン

分りにくい

住居表示の調査研究は

問 谷地地区の住居表示の質問に対し、町長は確かにわかりにくい



町民の安全・安心を守る消防団

**撤退する会社が
あることについて**

問 大事にすべきは地元企業ではないか。

町長 製造工場の合理化など経営判断が伴う。これまで同様に地元企業に寄り添い大事にしていきたい。

問 花ノ木工業団地に13年前に土地を購入した企業が進出せず未だ更地だ。このまま進出を待つのか。

町長 企業側事情により建設断念。町として、この土地8千㎡も含め新たな企業誘致活動を進める。



ひな産直で秘伝豆加工始まる

と認識している。第7次総合計画後期基本計画で検討したいと答弁、後期基本計画に調査研究すると明示した。

谷地地区の住居表示は、明治以降の慣習から土地に付けられている字名と符合と番号から表示しており大変分かりにくい。例えば、紅花資料館は谷地戊〇〇、観光協会（売店）谷地己〇〇、八景庵谷地庚〇〇など。特に沢

畑地区には谷地甲、乙、丙、戊、己、庚、辛、と多彩な表示があり大変分かりにくい。住居表示は町づくりの一丁目一番地である。

分りにくい住居表示に関してどのような調査研究を行ったのか伺う。

町長 次期第8次総合計画策定時に町民の声を聞くなど情報収集に努める。

谷地高等学校
120名堅持の運動を

県教育委員会に要望書提出



漆山 光春 議員

問 県立谷地高等学校が平成31年度より1学級削減となり、1学年2学級となる。その背景は。

町長 26年11月策定の「県立高校再編整備計画」に基づくものだ。

問 削減はあつてはならないことだ。町の対応は。

町長 今年3月29日に谷地高等学校後援会長、同窓会長、議会議長等とともに県教育委員会に「県立谷地高等学校入学定員120名の堅

持を求める要望書」を提出した。また、8月24日には、西村山1市4町の重要案件として同要望書を1市4町の首長・議長等とともに県に要望した。

問 県教育長との具体的な話し合いの内容はどうか。

町長 3学級堅持に向けて、谷地高等学校への高い志願状況や本町の特色を生かした「看護科」等の設置を訴えた。

高校の存続は

地域の存続

問 今後、持続可能なまちづくりを進める上で、高校の存続は地域の存続と直結する問題

だ。

地域と高校が連携し

て、高校の魅力化を図る組織の構築が必要だ。

町長 谷地高校が主体となり、同窓会や民間団体が自発的に活動する組織ができれば、町として協力する。

谷地高後援会に

補助増額を

問 地域と密着した学校づくりを進めるために、後援会に対する補助増額が必要だ。

町長 高校と話し合いの上、検討していく。



熱気あふれる谷地高祭

小・中学校の全教室に
エアコン設置を早急に

3か年計画で

整備していきたい



丹野 貞子 議員

は小学校1名、中学校4名。中学生4名のうち2名は部活動中に熱中症になった。

問 気候変動により30

年前と比べ現在は、7

月の最高気温の平均気

温が2℃前後も高く

なっていることの認識

はどうか。

町長 地球温暖化問題

は世界的に深刻な問題

だ。1990年代以降、

高温となる年が頻繁に

表れている。

町内児童生徒の

熱中症の状況はど

うか。

町長 7月に熱中症と

し診断された児童生徒

は

その他、毎年、町内

篤志企業から多額の寄

付を受け、各学校に備

品をいただいている。

28年度には扇風機を

河北中学校に40台、さ

アンテナショップは
商工会と連携して展開を
運営協議会委員として
積極的に支援



細矢 誓子 議員

問 アンテナショップ

に対する町の支援は。

町長 政策推進、農林

振興、商工観光の各課

委員を運営協議会委員

として参加。

商工会と積極的に連

携し支援をしていく。

首都圏の情報発信

基地として稼働

問 河北町では、この

シヨップにどのような

機能と活用を考えてい

るか。

町長 物産や飲食だけ

でなく、「観光・移住

定住に関する情報発

信」や「ビジネス機

会の創出」の場として

いく。

町報やいきいき関東

河北会で発信

問 町民や首都圏への

周知は。

町長 このシヨップを

成功させるにはPRが

大切だ。町報かほくや

いきいき関東河北会な

ど東京イベント開催時

にPRしていく。

移住者は376人

県外者は143人

問 河北町の移住定住

の推移は。

町長 町内に一軒家を

借りて移住体験事業を

開始した。

29年の移住者は37

6人。うち県外者は1

農業経営の
強化にも効果的
ソーラーシェアリ
ングは地球温暖化対策
の他、売電収入が経営
強化にも効果的で、河
北町の作物との相性や、



谷地北口で県道の道路冠水(6月30日)

ゲリラ豪雨で

谷地北口の道路冠水対策を

すぐに対策の

調査設計を開始する



木村 章一 議員

営農型太陽光発電の

導入検討を

問 毎年毎年、台風や

ゲリラ豪雨など異常気

象がひどくなっている

地球温暖化対策が求め

られている。

環境対策は地球規模

で考え足元からの取組

みが必要だ。

優良農地で作物を栽

培しながら、太陽光発

電をするソーラーシェ

アリング(営農型太陽

光発電)を認識してい

るか。

町長 再生可能エネル

ギー活用は大変重要だ。

ソーラーシェアリン

グは2013年に農水

省から通知があつて承

知している。



雨のため体育館で行われた溝延小運動会

らに各小学校にも寄贈

いただき大いに活用さ

せてもらっている。

3か年計画で

エアコン設置の考え

問 児童生徒や教師の

命や健康を守るため早

急にエアコンを設置す

べきだ。

町長 酷暑対策として

多額の費用を伴うが、

3か年計画で整備した

い。



河北町ちえっと移住体験住宅(土慶小路)

43人。

総合案内係で相談し

て県外から移住・定住

が認められた件数は29

年度7件あった。

地域おこし協力隊員

として移住

問 効果を出している

支援策とこれから打ち

出したい支援策は何か。

町長 総合案内係で受

けた件数は66件。移住

体験事業の申し込みは

2件で3人が利用した。

その内の1人が地域

おこし協力隊員として

移住した。

住みやすいと感じる

環境整備の施策の展開

や、交流人口の拡大が

必要だ。

ふるさと応援寄付を

いただいている方や、

アンテナシヨップなど

を活用して情報を発信

していく。

空き家等対策計画の早期策定を

現行施策の進行状況を 見ながら検討したい



齋藤 隆 議員

町長 今年の3月現在、特定空き家はない。老朽化が著しい管理不全の空き家は16軒。豪雪等で倒壊の恐れがあるときは、その空

き家の管理者に、適正な管理を依頼する。

問 空き家等対策計画を早期に策定すべき。

町長 27年7月施行の空き家等の適正管理に関する条例を適用しながら、施策を進めたい。空き家等対策計画の策定は、進行状況を見ながら検討したい。



適正な管理が求められる空き家

生活保護世帯へのエアコン設置拡充を

問 厚生労働省は今年4月以降新規に生活保護申請をした世帯に対し、条件付きでエアコン購入費支給を認める通知を出している。

3月以前の生活保護利用世帯に対しても購入費を補助すべきと考えるがどうか。

町長 国の今後の動向を見極めつつ、制度の充実を呼び掛けることが大切と考える。

問 低所得世帯への対策として、エアコン設置補助、冷房代の助成をすべきと考えるがどうか。

町長 今年3月以前の生活保護家庭にも設置が適用されるよう、働きかけることが先決と考える。

請願審査と意見書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について

【請願者】山形県教職員組合西北村山地区支部

支部長 逸見 研

【紹介議員】石垣光洋

【審議結果】全会一致で採択し、意見書を提出しました。

【意見書の概要】

日本はOECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数が多いため、教員1人当たりが受け持つ児童生徒数は世界的にも多くなっている。

2016年に施行された障害者差別解消法による障がいのある子どもたちへの人的・物的支援を含む合理的配慮への対応、いじめ・不登校の課題、保護者の離職に伴う教育格差など、学校に求められる役割は

拡大している。2020年度から始まる学習指導要領では、小学校において英語が必修になるため、授業時数や指導内容が増加する。

義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたままである。

子どもの学ぶ意欲・主体的な取組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。

2019年度政府予算編成に下記事項の実現を、強く要望する。

1.子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

2.教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

道の駅関連で町長に申入れ

総務産業常任委員会

道の駅河北のあり方について、委員会は次のようにまとめ、全議員の意見として町長に申し入れ、結果として9月の補正予算案から道の駅関連の予算は削除されました。

よって当委員会としては、9月補正予算案に対し疑問が残る。今後、十分に検討し、町民に理解される方向性を示す必要がある。

町消滅の危機に 観光振興などで対策

委員会では6月に、宮城県丸森町と南三陸町で視察調査を行いました。

2つの町ともに人口減少が激しく、このままでは町消滅の危機になる、と思いつた観光振興策や企業支援に取組んでいました。

3 委員会では、指定管理中の決算書を要求し精査したところ、業務委託が適切である根拠がない。



丸森町で視察調査

河北消防団幹部との懇談と 町内小学校訪問

厚生文教常任委員会

消防団幹部と懇談

7月に消防団幹部と懇談を実施しました。

消防団員条例定数565人、現数478人（平成30年4月1日現在）です。

入団勧誘は常時実施し、区長へ依頼や相談をしている。

消防団からの要望

◇現場での踏抜き防止や足首の捻挫防止のため、全団員へ編み上げ靴の配備を。
◇上下耐火服の配備を。
◇消防団OBが後方支援隊として、活動可能か具体的な検討を。

谷地西部・西里 谷地中部小訪問

7月に、3つの小学校を訪問しました。

○学校ごとに特色ある活動が工夫されている。

○各小学校とも教室が暑く、児童が授業に集中できないのではないか、熱中症



消防団幹部との懇談

第8回 議会報告会 議員と語る会

議会活動の報告や町民皆様のご意見をお聴きします。普段皆様が思っていること、考えなどについて意見交換を行います。

すべての会場に、どなたでもご参加いただけます。

【持参いただきたいもの】

- かほく議会だより(第101号 平成30年10月号)
- わかりやすい平成30年度 予算説明書

【日 程】

期 日	時 間	会 場
10月22日 (月)	午後7時 ～9時	荒南公民館
		高嶋公民館
		両所活性化センター 12区公民館
10月24日 (水)	午後7時 ～9時	吉田下公民館
		若葉町公民館
		下工公民館 要害公民館

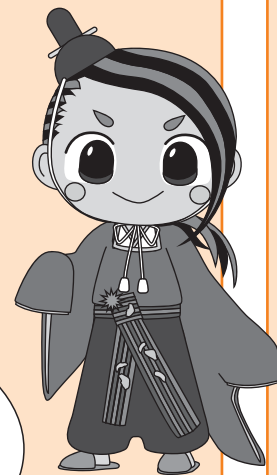
高校生議会

県立谷地高校が取り組んでいる「地域探究の時間」の推進と、選挙権年齢が18歳以上になったことに伴う主権者教育の一貫として、また、まちづくりや議会への関心を高めてもらうため、高校生議会を開催します。

【日 時】
11月20日(火)
午後2時30分～

【場 所】
河北町役場議場

当日は傍聴ができます。
また、インターネットによる
ライブ中継も行いますので、
ぜひご覧ください。



町民が登場する記事を増やす

広報広聴常任委員会

でも導入を検討してはどうか。

○最後のページに小学生に、将来の夢を語ってもらう記事を導入してはどうか。

編集方針の作成へ

○かほく議会だよりをどんな議会だよりにするのかという理念を、「編集方針」「編集マニュアル」にまとめてはどうか。

議会の改選や委員会の構成替えなど、新しいメンバーにバトンタッチしても、そこから継続して改善が成される有効な財産となるのではないか。

東京都あきる野市を訪問し、また全国の町村議会広報クリニックに参加した研修成果を以下にまとめました。

○表紙と2ページ、3ページで住民から数人参加していただき、議員と懇談する特集を「かほく議会だより」



あきる野市で視察

清掃センターなどの視察

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

定例会は7月23日に開催されました。

○損害賠償の額の決定は、3件の物損事故により生じた損害の賠償を行うもので、いずれも専決処分です。

○ごみ焼却処理施設延命化工事(第一期工事) 請負契約の締結は、株式会社タクマ東京支社副社長執行役員支社長沼田謙悟が落札し、10億2600万円で契約するものです。

○平成29年度組合会計歳入歳出決算は、収入済額18億6921万円、支出済額は18億1023万円、差引残額5897万円は翌年度へ繰り越すものです。

○議員の派遣は、埼玉県飯能市の飯能市クリーンセンターと、熊谷市の江南清掃センター視察です。

職員定数を8人増へ

西村山広域行政事務組合議会

第2回臨時会は7月6日に開催されました。

○職員定数条例の一部改正は、救急出動件数の増加と救急搬送時間の長時間化に対処するため、事務部局の職員定数を120人から128人に、組合全体の職員定数を188人から196人に改正するものです。

決算認定と補正予算

河北町ほか2市広域畜場事務組合議会

定例会は、8月28日に開催されました。

○組合会計歳入歳出決算は収入済額9402万円、支出済額は9199万円、差引残額203万円を翌年度へ

早稲田大学で

議会の力で地方創生

全国地方議会サミット2018

全国から1000名を超える地方議員が参加し、議会のあり方について有識者の講演や先駆的な取り組みについて学びました。

議会は住民の意見を
集める「集約者」

地方分権は
地方の覚悟で
日本のガバナンスを
決定的に変えていくの
が分権です。「国から
地域を変えてもらう」

議会という集合体で
明確な意思を示せ
議会における「委員会代表質問」や議政
策形成サイクル(政策
を提言し検証する)で
議会力を発揮すること
が必要です。

議会力強化のため
議会事務局の改革

議会事務局の役割は
議員と共に政策づくり
や有効的に機能する議
会に変革するパート
ナーになることです。

